Biz Communicator リモートサービス
(Powered by MagicConnect)

取扱説明書

for Windows

第1.4版

ＮＴＴコミュニケーションズ株式会社

改版履歴

■2007 年 10 月 31 日..... 第 1.0 版
■2007 年 11 月 12 日..... 第 1.0 版_r2
■2008 年 02 月 27 日..... 第 1.0 版_r3
■2008 年 11 月 04 日..... 第 1.1 版
■2009 年 08 月 24 日..... 第 1.2 版
■2010 年 07 月 01 日..... 第 1.3 版
■2011 年 7 月 22 日・・・

目　次

１章.　はじめに ..... １−１
１－１）はじめに ..... １−１
１－２）運用に必要なシステム環境 ..... １−２
２章.　対象機器での設定 ..... ２−１
２－１）MagicConnent Client ソフトのインストール ..... ２−２
２－２）MagicConnent Client ソフトのアンインストール ..... ２−６
２－３）MagicConnect Client の設定 ..... ２−７
１）基本的な操作 ..... ２−７
２）設定 ..... ２−９
２－４）利用アプリケーションの設定 ..... ２−１３
１）リモートデスクトップサーバの設定 ..... ２−１３
２）ターミナルサービス／ターミナルサーバの設定 ..... ２−１５
２－５）対象機器の設定確認 ..... ２−１６
３章.　操作 PC での設定 ..... ３−１
３－１）MagicConnect Viewer の設定 ..... ３−２
１）基本項目の設定 ..... ３−２
２）詳細設定 ..... ３−５
３－２）中継管理サーバへの接続 ..... ３−６
３－３）利用アプリケーションの設定・利用 ..... ３−９
１）利用開始・終了 ..... ３−９
４章.　その他 ..... ４−１
４－１）ユーザサポートツール ..... ４−１
４－２）MagicConnect のバージョンアップ ..... ４−１
４－３）MagicConnect Client を操作可能なユーザの制限方法 ..... ４−２
設定例:「 ユーザ admin だけに操作権限を与える」 ..... ４−２
４－４）MagicConnect Client を必要なときだけ待ち受けさせる運用 ..... ４−３

１章. はじめに

１－１）はじめに

MagicConnect は簡単かつ安全にファイアウォール内部への接続を提供する VPN ソフトウェアです。ファイアウォールのブロックを回避して、ファイアウォール内の機器に外から接続することを可能にします。

MagicConnect 上では TCP/IP 接続のさまざまなアプリケーションが使用可能ですが、本タイプはリモートデスクトップ専用となっています。

MagicConnect Client ソフトは、対象機器（操作される側）にインストールします。利用するアプリケーション（リモートデスクトップサーバ）は OS にバンドルされています。

MagicConnect Viewer ソフトは、USB キーに格納したまま、操作 PC（操作する側）で利用します。同時に利用するアプリケーション（リモートデスクトップクライアント）を、USB キーに格納する必要があります。

本書に掲載されている商標および登録商標は、各社の商標及び登録商標です。

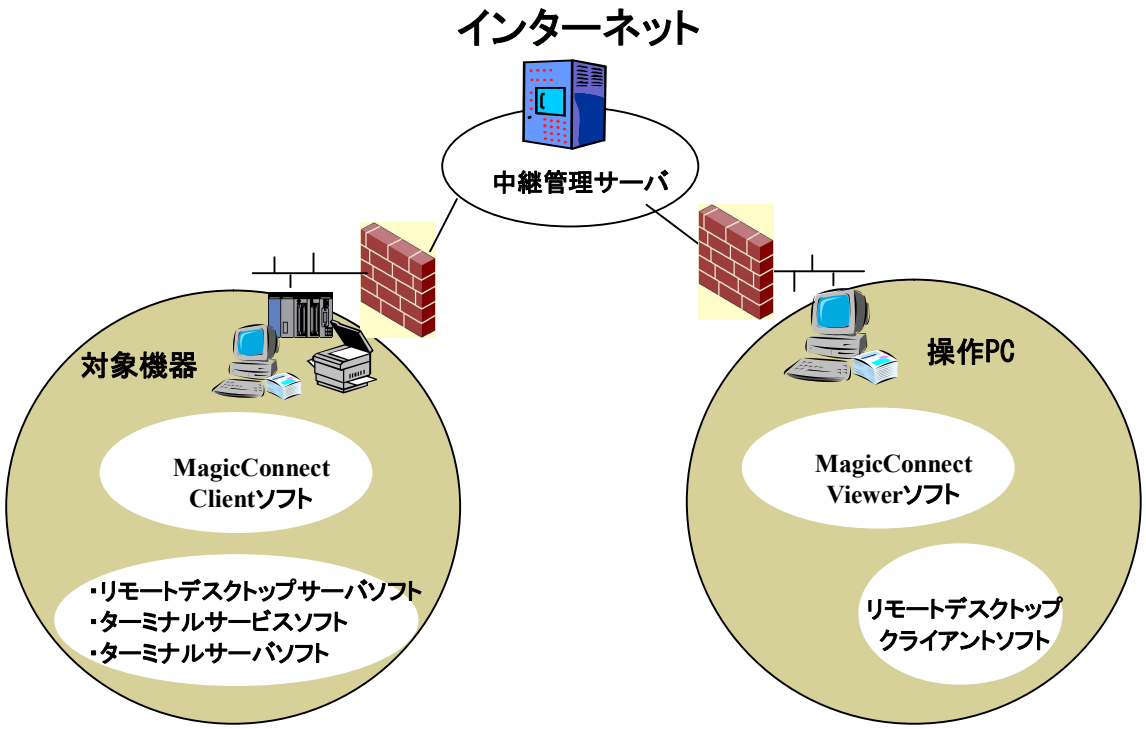


図１－１－１：対象機器、操作 PC におけるソフトウェア構成

１－２）運用に必要なシステム環境

MagicConnect for Windows の運用を行うにあたり、対象機器（操作される側）、操作 PC（操作する側）に必要とされるシステム環境について下記に示します。

なお、本書は、下記のバージョンの製品を対象とし、記載しています。

- 対象機器側（Client）：MagicConnect2.0 Ver3.3r*
- 操作ＰＣ側（Viewer）：MagicConnect3　Ver3.3r*（Ver3.4r*）

【USB キー形状：MC3】

■OS バージョン

対象機器側（操作される側）

対応 OS の種類	
Windows XP SP3 以降 （32bit 版/64bit 版）	Professional
Windows Vista SP１以降 （32bit 版/64bit 版）	Ultimate / Enterprise / Business
Windows 7 （32bit 版/64bit 版）	Ultimate / Enterprise / Professional
Windows Server 系 （32bit 版/64bit 版）	
	Server 2003 SP2 以降
	Server 2003 R2 SP2 以降
	Server 2008
	Server 2008 R2

※Windows Server 2008 R2 は 64bit 版のみとなります。

※64bit 版は「x64」になります。

操作 PC 側（操作する側）

対応 OS の種類
Windows XP（32bit 版）　SP3 以降
Windows Vista（32bit 版/64bit 版）　SP1 以降
Windows 7（32bit 版/64bit 版）

※USB キーデバイスを含みます。

※64bit 版は「x64」になります。

※Windows XP Embedded SP3 以降を利用される場合は、事前に動作検証を行ってください。

■　CPU 性能とメモリ容量

・PentiumⅢ/500MHz 以上推奨

・128MB 以上（推奨 256MB 以上）

■　ハードディスク空き容量

・MagicConnect の運用を行うにあたり必要とされる空き容量：10MB 以上

２章. 対象機器での設定

本章は、
２－１）対象機器（操作される側）となるPCに、MagicConnent Clientソフトをインストールする方法
２－２）対象機器（操作される側）のPCから、MagicConnent Clientソフトをアンインストールする方法
２－３）MagicConnect Clientの設定方法
２－４）利用アプリケーションの設定
２－５）対象機器の設定確認
に関して記述しています。

２－１）MagicConnent Client ソフトのインストール

USB キーに格納されている MagicConnect Client ソフトを対象機器（操作される側）となる PC へインストールする方法を説明します。
インストール後に PC の再起動は必要ありません。

※MagicConnect Client ソフトをインストールする場合は、必ず本書手順のとおりに実施してください。
※手順は、すべてコンピュータの管理者権限を持ったユーザ権限で行ってください。

①USB キーを装填し、[mcclient20_setup.exe]を起動すると、セットアップウィンドウ（**図２－１－１**）が表示されます。
続行する場合は**「次へ」**を、終了する場合は**「キャンセル」**を押してください。

※[mcclient20_setup.exe]は、読み取り専用ドライブ側の[bizcom_remote]フォルダ内に格納されています。

図２－１－１

②契約書をお読みになり、同意する場合は**「同意する」**を選択し、**「次へ」**を押して続行してください。

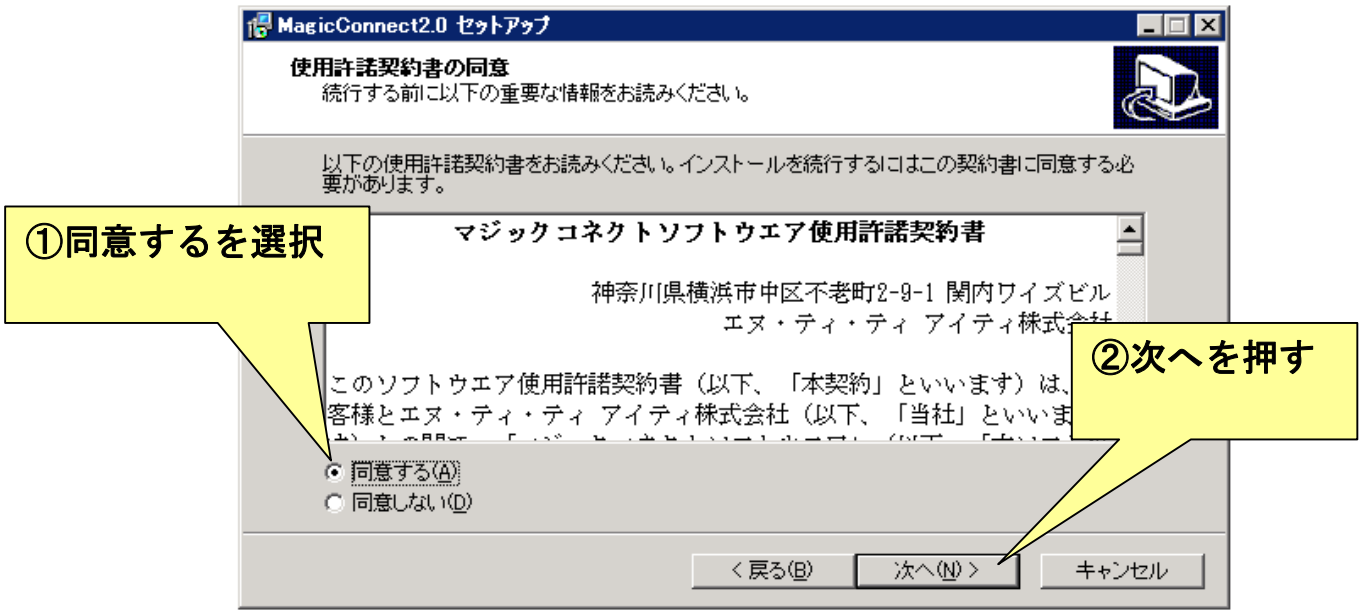


図２－１－２

③インストール先を指定し、**「次へ」**を押して続行してください。

・デフォルトは、システムドライブ（一般に【 C: 】）の【 ¥Program Files¥MagicConnect2.0 】（64bit OS の場合 【 ¥Program Files (x86)¥MagicConnect2.0 】）です。

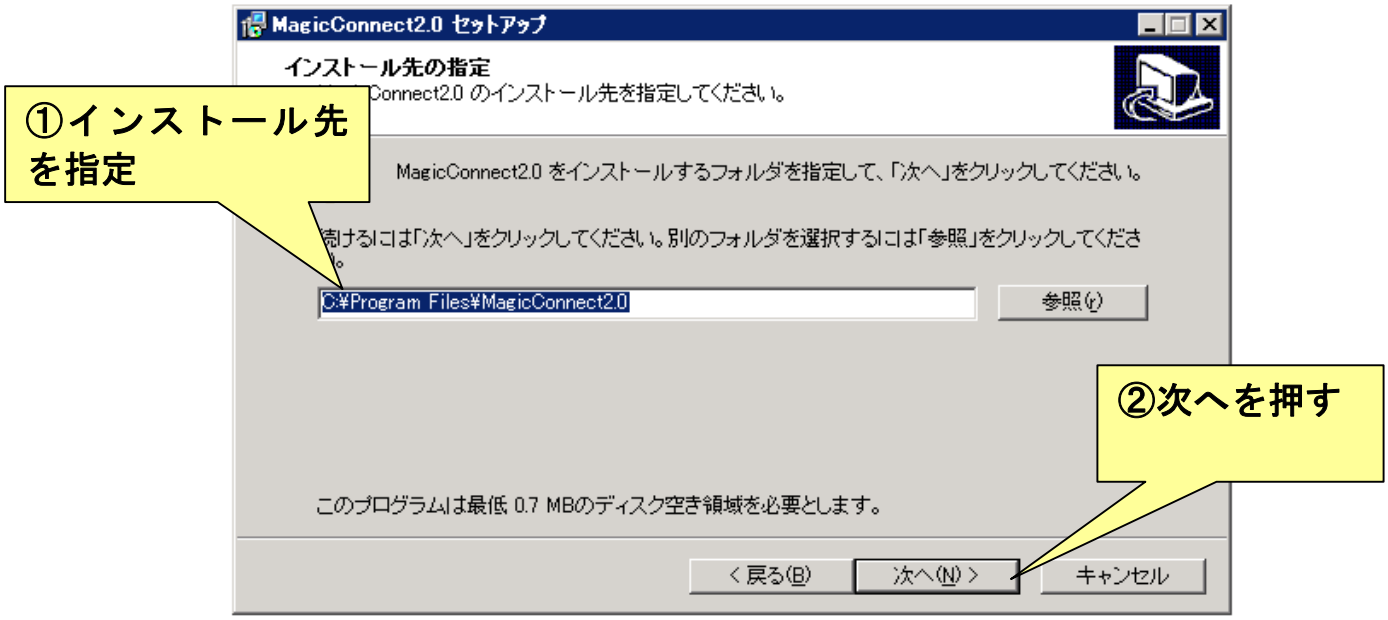


図２－１－３

④スタートメニューに登録するショートカットの作成先を指定し、**「次へ」**を押して続行してください。

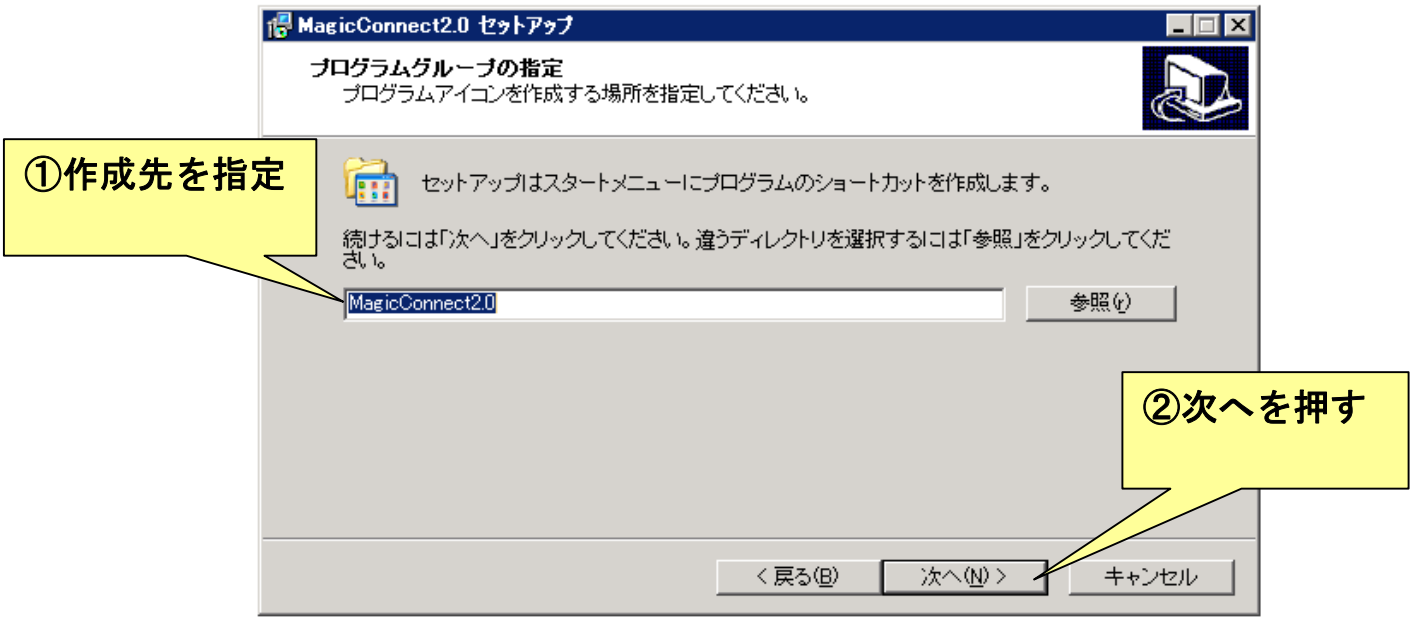


図２－１－４

⑤設定を確認してください。**「インストール」**を押すとインストールが開始されます。
設定を変更する場合は、**「戻る」**を押してください。

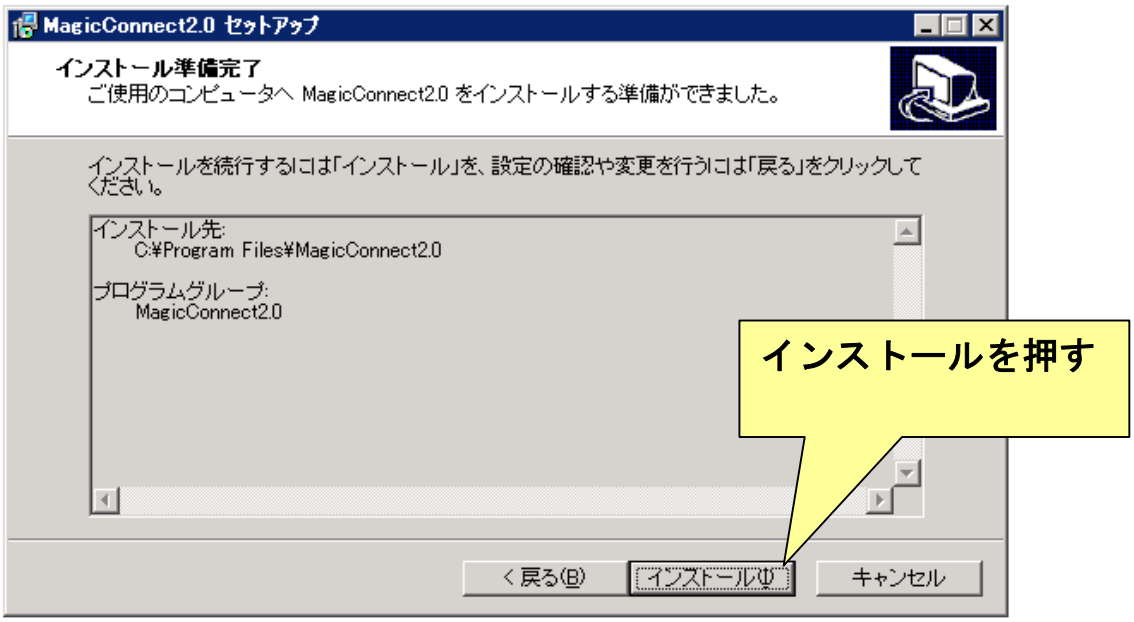


図２－１－５

⑥下記画面が表示されたら、MagicConnect Client ソフトのインストールは完了です。

図２－１－６

⑦USB キーを取り外す場合は、タスクバーに表示されている**「ホットプラグ（ハードウェアの安全な取り外し）アイコン」**をクリックして表示された USB デバイスを停止後、安全に取り外してください。

※不用意に取り外した場合、システムに影響がでる可能性がありますのでご注意ください。取り外し方法は OS により異なる場合があります。不明な場合は OS のヘルプを参照してください。

２－２）MagicConnent Client ソフトのアンインストール

MagicConnect Client ソフトをアンインストールする方法を説明します。

※MagicConnect Client ソフトをアンインストールする場合は、必ず本書手順のとおりに実施してください。
※手順は、すべてコンピュータの管理者権限を持ったユーザ権限で行ってください。

①「コントロールパネル→アプリケーションの追加と削除」（**図２-２-１**）から
「MagicConnect」を選択し、**「削除」**を押してください。（**図２-２-２**）が表示されます。

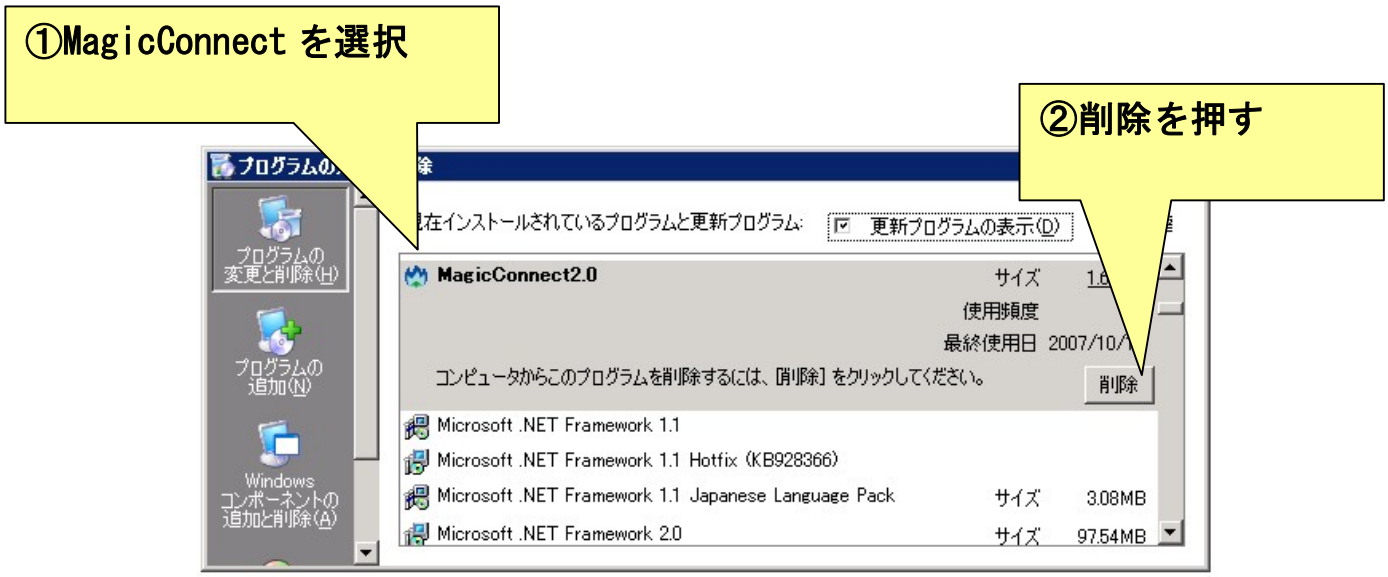


図２-２-１：アプリケーションの追加と削除

②**「はい」**を押すとアンインストールが開始されます。

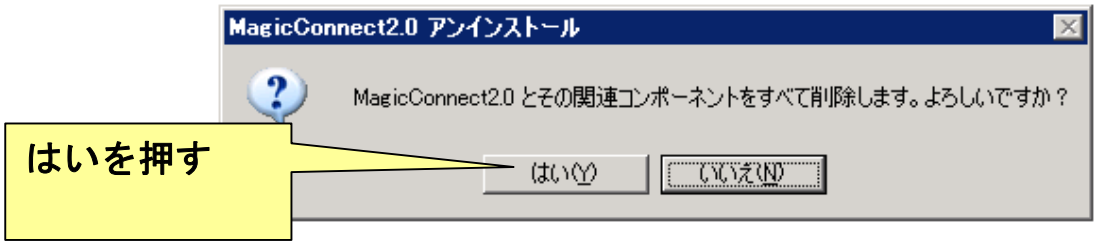


図２-２-２

③アンインストールが完了すると、下記画面（**図２-２-３**）が表示されます。
「ＯＫ」を押し、終了します。

図２-２-３

２－３）MagicConnect Client の設定

対象機器（操作される側）で起動する MagicConnect Client の設定方法を説明します。

１）基本的な操作

■　Windows タスクバーの通知領域に表示される MagicConnect Client アイコンにより、MagicConnect Client の状態を確認することや、設定や状態を変更することができます。
（※ MagicConnect Client アイコンが隠れている場合、通知領域の矢印ボタンにより表示させることができます。）

中継管理サーバへの接続状態に応じてアイコンの外見が変化します。

：中継管理サーバに接続していない、あるいは接続を試みている途中の状態です。エラーは発生していません。

：上記のアイコンと同様に、中継管理サーバに接続していない、あるいは接続を試みている途中の状態ですが、エラーが発生しています。

：中継管理サーバに接続した状態です。

■　アイコンにマウスカーソルを重ねると、現在の状態がポップアップ表示されます。

サーバに接続してください　：中継管理サーバに接続していない状態。

接続準備中　：中継管理サーバとの接続を試みている途中の状態。

接続待ち　：中継管理サーバに接続が完了し、操作 PC からの接続を待っている状態。

接続中　：操作 PC から接続されている状態。

■　アイコンを右クリックすると、下記のようなメニューが表示されます。

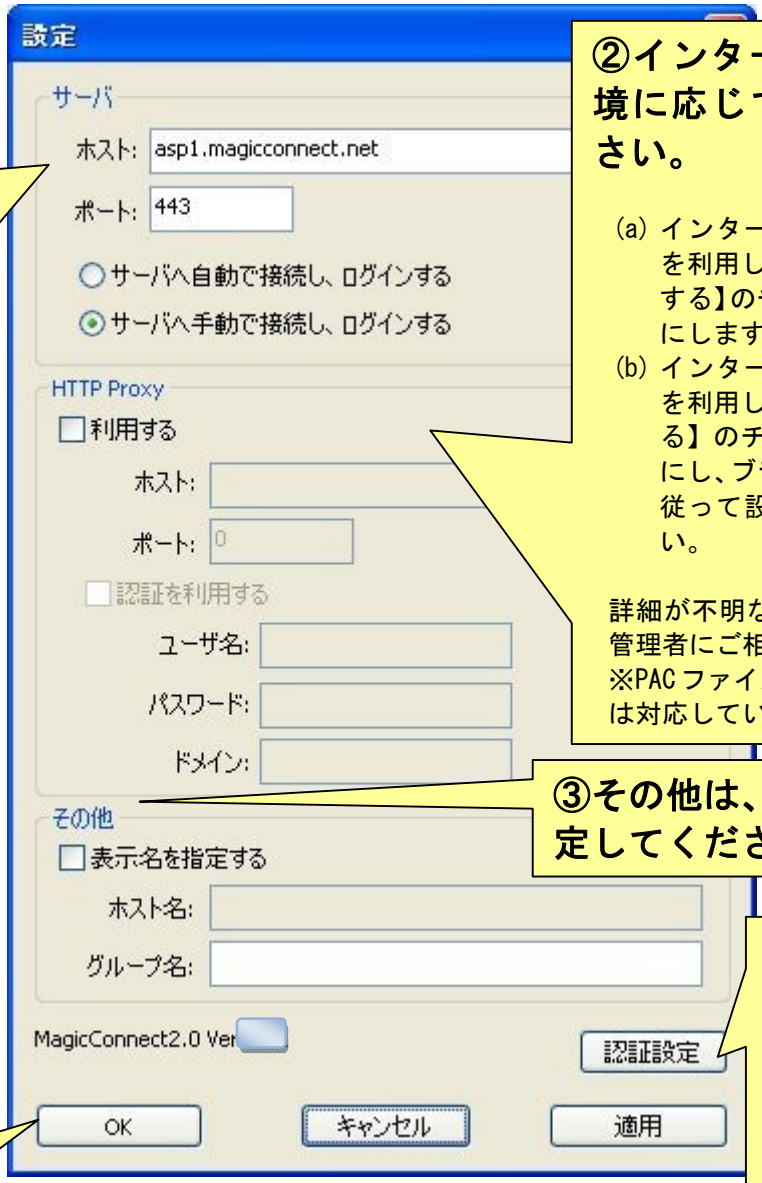
接続	:	設定されている中継管理サーバに接続を行います。 （接続していない状態の場合のみ選択できます）
切断	:	中継管理サーバとの接続を終了します。 （接続状態の場合のみ選択できます）
設定...	:	設定ウィンドウ（**図２－３－１**）が開き、MagicConnect Client の設定変更ができます。
接続エラーを確認...	:	発生した接続エラーの内容を確認できます。 （接続エラーが発生した場合のみ選択できます）

２）設定

①タスクバー 通知領域の MagicConnect Client アイコンを右クリックし、表示されるメニュー【設定...】を選択してください。設定ウィンドウ（**図２-３-１**）が表示されます。

②設定を入力し保存します。
各項目の詳細は、次ページを参照してください。

①サーバのホストとポートは設定必須項目です



②インターネット接続環境に応じて設定してください。

(a) インターネット接続に Proxy を利用していない場合は【利用する】のチェックを外した状態にします。（出荷時の設定）
(b) インターネット接続に Proxy を利用している場合、【利用する】のチェックボックスを ON にし、ブラウザの Proxy 設定に従って設定を入力してください。

詳細が不明な場合はネットワーク管理者にご相談ください
※PAC ファイルによる Proxy 設定には対応していません。

③その他は、必要に応じて設定してください

④認証設定は必須設定項目です

クリックして表示される認証設定ウィンドウ（**図２-３-２**）に設定を入力してください。

⑤ OK を押す

図２-３-１：設定ウィンドウ

【　サーバ　】

□　ホスト　：　中継管理サーバのアドレスを指定します。
□　ポート　：　中継管理サーバの待ち受けポート番号 443 を指定します。

□　サーバへ自動で接続し、ログインする　：　PC の起動時に中継管理サーバへ自動的に接続させます。
この設定の場合、PC を再起動させた後、特別な操作を必要とせずにリモートからの操作が可能になります。
一般的なリモートアクセス用途ではこの設定を推奨します。
WakeOnLAN を利用することにより PC の電源をオフにして待機させることも可能です。

□　サーバへ手動で接続し、ログインする　：　PC の起動時に中継管理サーバへの自動的な接続をさせません。
この設定の場合、PC を再起動させた後、ユーザがタスクバーの通知領域アイコンから【接続】を実行しないとリモートからの操作が可能になりません。
特殊な用途のための設定です。(例: 普段はリモートからの操作をさせず、必要なときだけ対象機器側の人間が接続操作を実施してリモートからの操作を受け入れる)

【　HTTP Proxy　】

□　利用する　：　HTTP Proxy 設定が有効になります。
□　ホスト　：　HTTP Proxy サーバのアドレスを指定します。
□　ポート　：　HTTP Proxy サーバの待ち受けポート番号を指定します。
□　認証を利用する　：　HTTP Proxy 認証を利用する場合にチェックを付けます。
□　ユーザ名　：　HTTP Proxy 認証のユーザ名を指定します。
□　パスワード　：　HTTP Proxy 認証のパスワードを指定します。
□　ドメイン　：　HTTP Proxy 認証のドメインを指定します。

【　その他　】

□　表示名を指定する　：　MagicConnect Viewer のメインウィンドウ（**図３-２-３**）の一覧に表示する「ホスト」名を、下記で設定したホスト名とするか/否かを指定します。
□　ホスト名　：　MagicConnect Viewer のメインウィンドウ（**図３-２-３**）の一覧に表示する「ホスト」名を設定します。
□　グループ名　：　MagicConnect Viewer のメインウィンドウ（**図３-２-３**）の一覧に表示する「グループ」名を設定します。

【　各ボタン　】

□　認証設定　：　ユーザ認証ウィンドウ（**図２-３-２**）を開きます。
□　ＯＫ　：　変更を適用してウィンドウを閉じます。
□　キャンセル　：　変更を取り消してウィンドウを閉じます。
□　適用　：　変更を適用します。ウィンドウはそのまま残ります。

設定ウィンドウ（**図２−３−１**）の**「認証設定」**ボタンを押すと、下記画面が表示されます。
ユーザ名とパスワードを設定します。項目設定後、**「ＯＫ」**を押します。

図２−３−２：ユーザ認証ウィンドウ

□　ユーザ名　　：　ユーザ名を設定します。
□　パスワード　　：　パスワードを設定します。

③保存した設定で中継管理サーバに接続します。
タスクバー 通知領域の MagicConnect Client アイコンを右クリックし、表示されるメニュー【接続】を選択してください。

④設定が正しい場合、接続が成功してアイコンの状態が「接続待ち」になります。
この状態になれば操作 PC からの接続が可能になります。MagicConnect Client の設定作業は完了です。

アイコンが接続エラー状態になった場合、【接続エラーを確認...】を選択してエラー内容を確認してください（**図２-３-３**）。
必要であれば設定を見直して【切断】【接続】を実行してください。

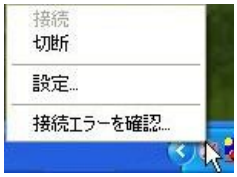


図２-３-３：エラーダイアログ（例）

２－４）利用アプリケーションの設定

次に、MagicConnect 上で利用されるアプリケーションの設定を行ってください。

１）リモートデスクトップサーバの設定

■　「コントロールパネル→システム」を開きます。
「**リモート**」タブ内の「**リモートデスクトップ**」項目にチェックを付けます。

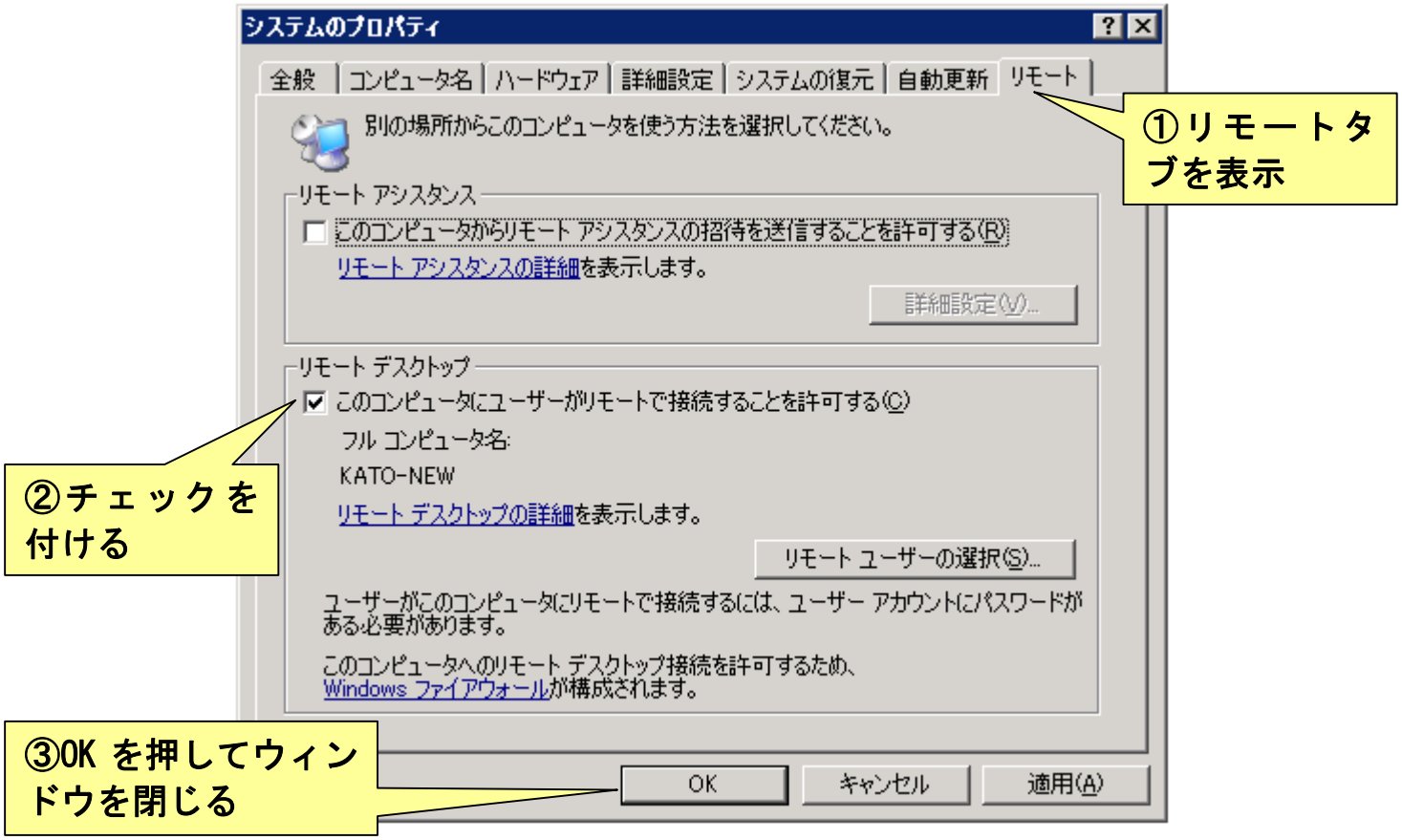
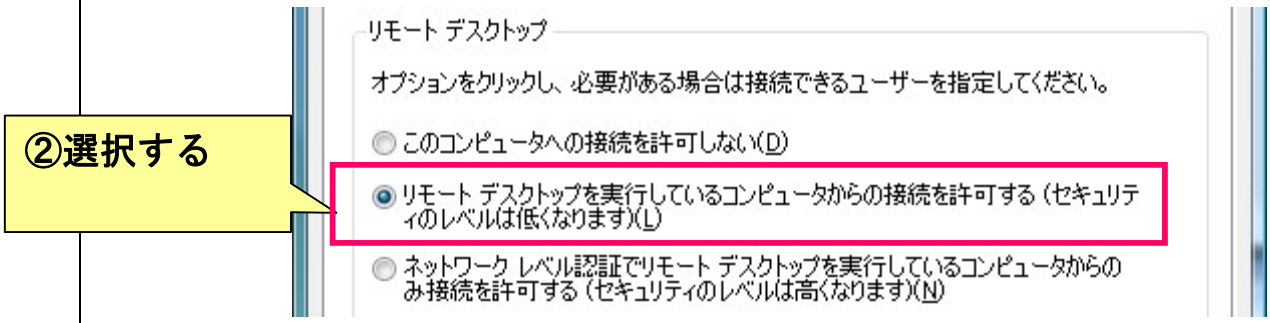


図２-４-１

※Windows Vista/7 の場合は、「コントロールパネル」→「システム」（“システムとセキュリティ”のカテゴリ内）を開き、左メニューから「リモートの設定」をクリックします。「リモート」タブ内の「リモートデスクトップを実行しているコンピュータからの接続を許可する」の項目を選択してください。



２）リモートデスクトップサーバへのアクセス制御

サーバベースコンピューティング、テレワークやリモートアクセス等において、LAN 内からの成りすましによる、対象機器（操作される側）への不正アクセスを防止するため、個人専用 USB キーを用いたマジックコネクトでのアクセスのみを許可する設定（USB キーを用いない、リモートデスクトップ単体での対象機器へのアクセスの禁止設定）を推奨します。

■　対象機器の「コントロールパネル」を開き、「セキュリティセンター」から、「Windows ファイアウォール」をクリックします。

■　「例外」タブをクリックし、「プログラムおよびサービス」の一覧から、「リモートデスクトップ」を選択し、「編集」ボタンをクリックします。

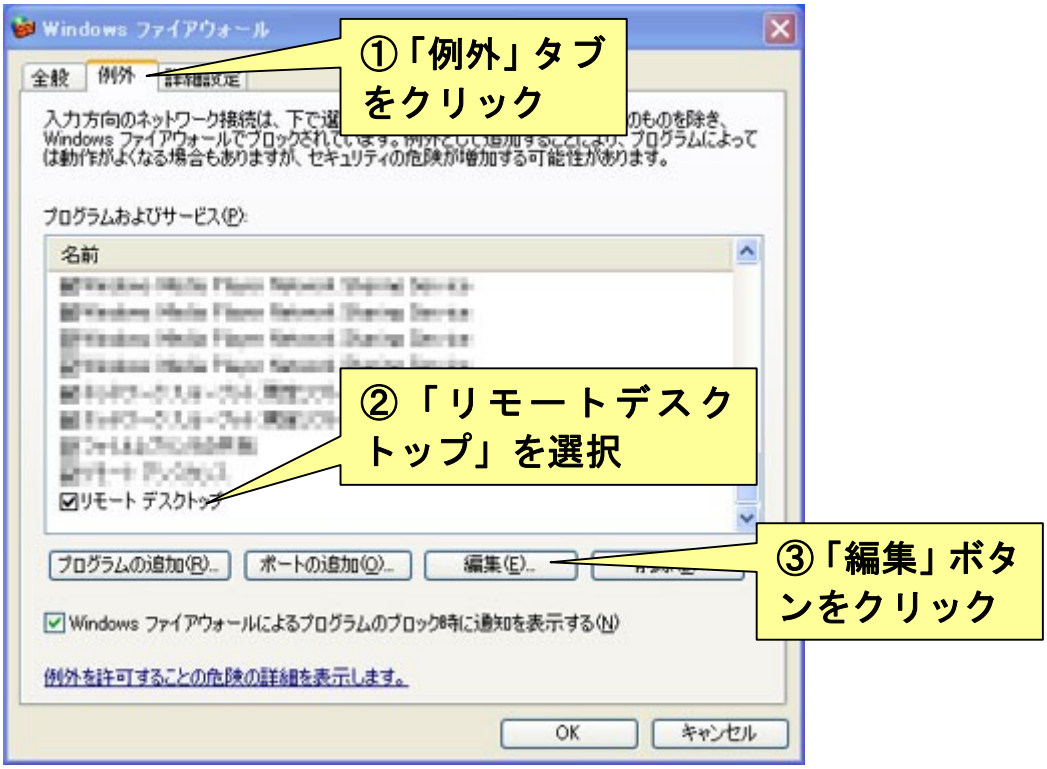


図２-４-２

■　「スコープの変更」ボタンをクリックします。

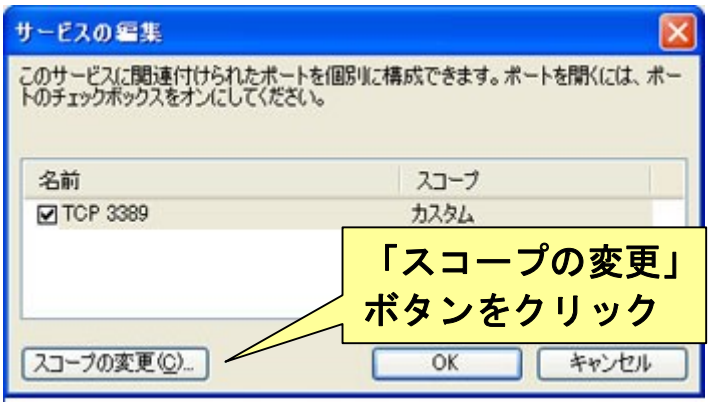


図２-４-３

■　「カスタムの一覧」を選択し、その下のテキストボックスに「127.0.0.1/255.255.255.255」と入力します。

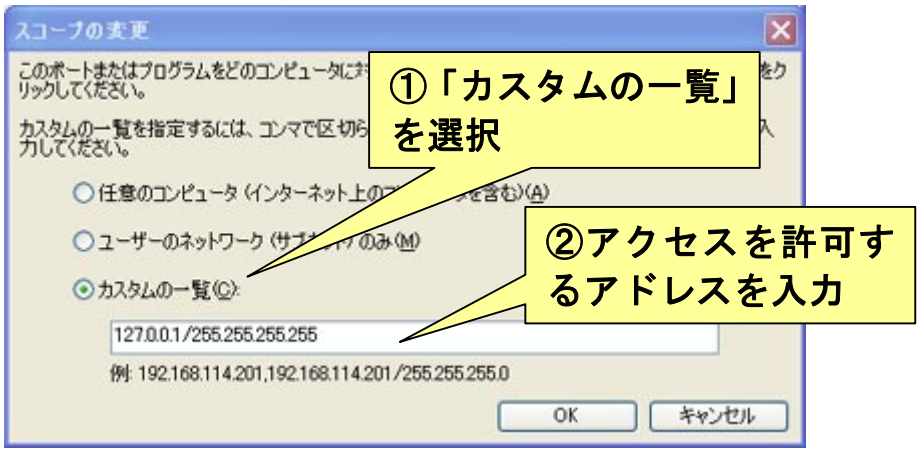


図２－４－４

■　順次「OK」ボタンを押して、ウィンドウを閉じます。

３）ターミナルサービス／ターミナルサーバの設定

ターミナルサービス、ターミナルサーバの設定・利用手順は、ご利用者の利便のため、ホームページに掲載してあります。
Biz Communicator のサポートページ（http://www.bizcommunicator.net/）の「マニュアル」をご参照ください。

以上で、対象機器（操作される側）での MagicConnect Client、利用アプリケーションの設定は完了です。

２－５）対象機器の設定確認

MagicConnect を利用される場合は、再度、対象機器が以下の状態になっていることを確認してください。

① MagicConnect Client が中継管理サーバに接続した状態である。
→タスクバー 通知領域の MagicConnect Client アイコンが （接続待ち）である
②利用アプリケーションが起動している。
→リモートデスクトップサーバの場合は、「リモートデスクトップ」項目にチェック
③対象機器の電源設定（コントロールパネル→電源オプション）が、システムスタンバイ：なし、システム休止状態：なし、になっている。
④パスワードを入力しないと対象機器を操作できない待機状態（画面ロック／ユーザの切り替え／ログオフ）になっている。

・MagicConnect Client の設定で【サーバへ自動で接続し、ログインする】（図 2-3-1 参照）を選択すると対象機器の電源をオフにして待機させることも可能です。その場合、電源スイッチあるいは WOL によって対象機器の電源をオンにすると利用可能な状態になります。

３章. 操作 PC での設定

本章は、
３－１）MagicConnect Viewer の設定方法
３－２）中継管理サーバへの接続方法
３－３）利用アプリケーション（リモートデスクトップクライアント）の設定と利用
に関して記述しています。

※MagicConnect Viewer ソフトは USB キーに格納した状態で、USB キーを操作 PC に挿してご利用いただくことになります。

※USB キーを取り外す場合は、タスクバーに表示されている**「ホットプラグ（ハードウェアの安全な取り外し）アイコン」**をクリックして表示された USB デバイスを停止後、安全に取り外してください。
不用意に取り外した場合、システムに影響がでる可能性がありますのでご注意ください。取り外し方法は OS により異なる場合があります。不明な場合は OS のヘルプを参照してください。

３－１）MagicConnect Viewer の設定

操作 PC（操作する側）で起動する MagicConnect Viewer の設定方法を説明します。

１）基本項目の設定

①USB キーを装填し、ドライブ名「MagicConnect***」に格納されている**[MagicConnect Viewer]**を起動すると、接続ウィンドウ（**図３－１－１**）が表示されますので、**「設定」**を押してください。
設定ウィンドウ（**図３－１－２**）が表示されます。

図３－１－１：接続ウィンドウ

【　接続設定　】

□　サーバ	：	接続先中継管理サーバのアドレスを入力します。 新しい順に最大５件履歴が残ります。
□　ユーザ名	：	中継管理サーバへ接続するユーザ名を入力します。
□　パスワード	：	中継管理サーバへ接続するパスワードを入力します。

【　各ボタン　】

□　ＯＫ	：	中継管理サーバへ接続が開始されます。
□　キャンセル	：	MagicConnect Viewer を終了します。
□　設定	：	設定ウィンドウ（**図３－１－２**）を開きます。

②基本項目を設定します。
各項目の詳細は次ページを参照してください。

①左図は出荷時の設定です

下記の場合は、設定を変更することなく利用できます

(1)インターネット接続に Proxy を利用していず、IE に Proxy 設定は行っていない。
(2)インターネット接続に Proxy を利用していて、ブラウザは IE を利用している。なお、ブラウザの Proxy 設定は、PAC ファイルを用いていない。

下記の場合は、手動で設定するを選び、ホストとポートを設定してください

(3)インターネット接続に Proxy を利用していて、ブラウザは IE 以外を利用している。
(4)ブラウザの Proxy 設定は、PAC ファイルを用いている。

※変更方法が不明な場合は、製品ページの FAQ をご覧ください。

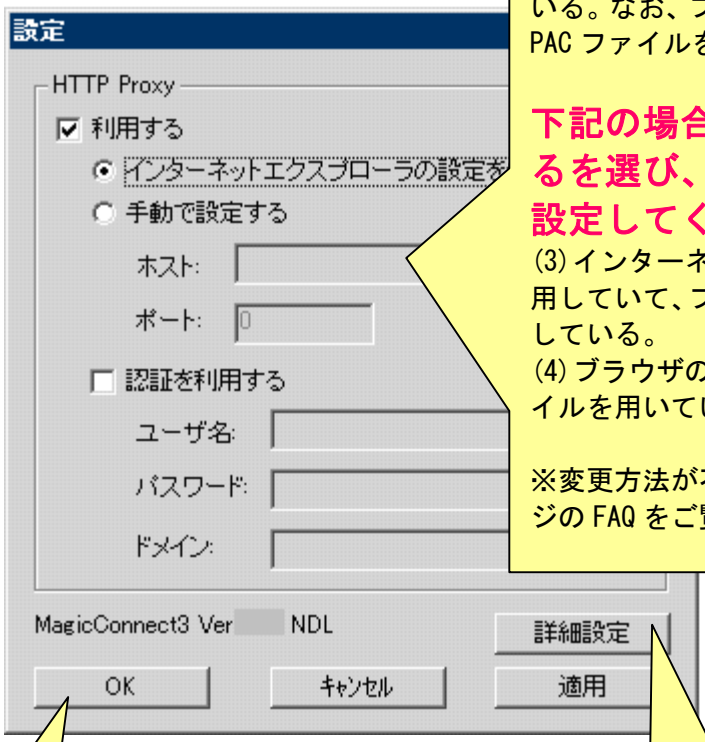


図３－１－２：設定ウィンドウ（初期状態）

③OK を押して、接続準備完了です

②詳細設定は、出荷時の設定から変更しないでください

【 HTTP Proxy 】

□ 利用する	：	HTTP Proxy 設定が有効になります。
□ IE の設定を使う	：	HTTP Proxy サーバのアドレスに IE の設定を使用する場合にチェックを付けます。
□ 手動で設定する	：	HTTP Proxy サーバのアドレスを手動で指定する場合にチェックを付けます。
□ ホスト	：	HTTP Proxy サーバのアドレスを指定します。
□ ポート	：	HTTP Proxy サーバの待ち受けポート番号を指定します。
□ 認証を利用する	：	HTTP Proxy 認証の設定が有効になります。
□ ユーザ名	：	HTTP Proxy 認証のユーザ名を指定します。
□ パスワード	：	HTTP Proxy 認証のパスワードを指定します。
□ ドメイン	：	HTTP Proxy 認証のドメインを指定します。

【　各ボタン　】

□　詳細設定	：	詳細設定ウィンドウ（**図３－１－３**）を開きます。 出荷時の設定から変更しないでください。
□　ＯＫ	：	変更を反映して接続ウィンドウ（**図３－１－１**）に戻ります。
□　キャンセル	：	変更を取り消して接続ウィンドウ（**図３－１－１**）に戻ります。
□　適用	：	変更を反映します。接続ウィンドウ（**図３－１－１**）には戻りません。

２）詳細設定

設定ウィンドウ（**図３−１−２**）の**「詳細設定」**ボタンを押すと、下記画面が表示されます。

出荷時の設定から変更しないでください。

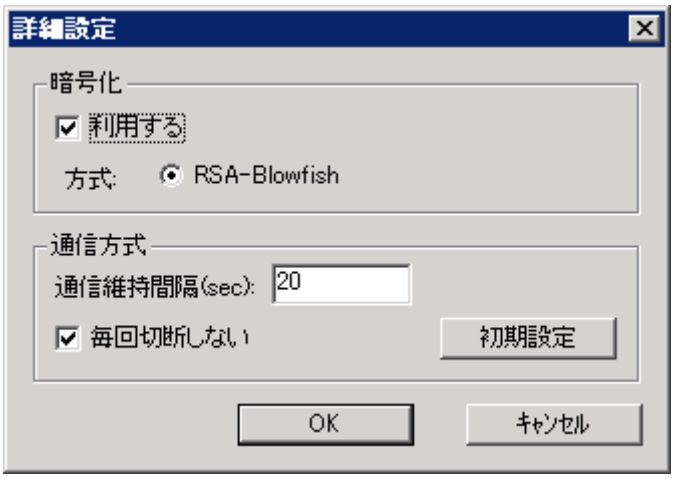


図３−１−３：詳細設定ウィンドウ（初期状態）

３－２）中継管理サーバへの接続

操作 PC（操作する側）の MagicConnect Viewer を中継管理サーバに接続する方法を説明します。

①[MagicConnect Viewer]を起動すると、接続ウィンドウ（**図３-２-１**）が表示されます。
接続する中継管理サーバのアドレス、ユーザ名、パスワードを入力して「**ＯＫ**」を押します。

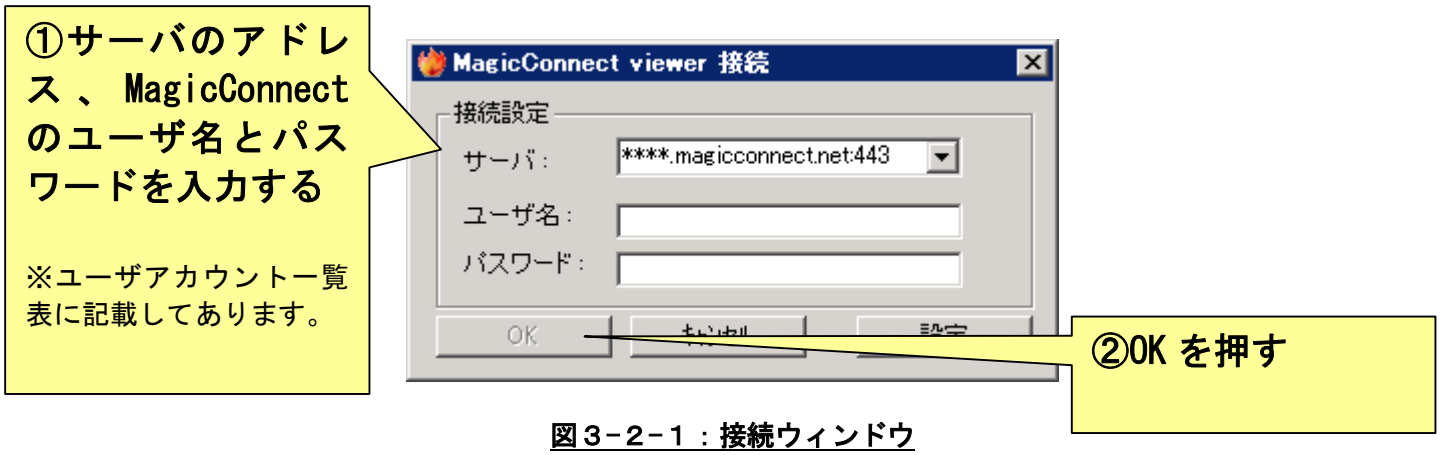


図３-２-１：接続ウィンドウ

なお、HTTP Proxy を設定している場合、HTTP Proxy のユーザ認証ウィンドウ（**図３-２-２**）が表示される場合があります。
その場合は、HTTP Proxy のユーザ名とパスワード及びドメインを入力して「**ＯＫ**」を押してください。

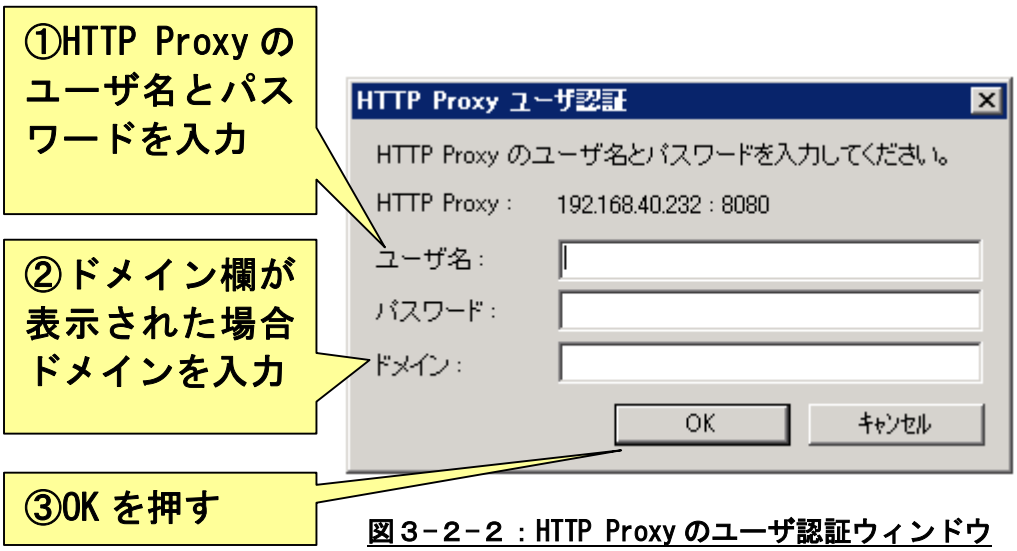


図３-２-２：HTTP Proxy のユーザ認証ウィンドウ

②接続、認証が完了すると、メインウィンドウ（**図３−２−３**）が表示されます。
メインウィンドウが表示された場合、操作 PC と中継管理サーバが接続されたことを意味します。
各項目の詳細は、次ページを参照してください。

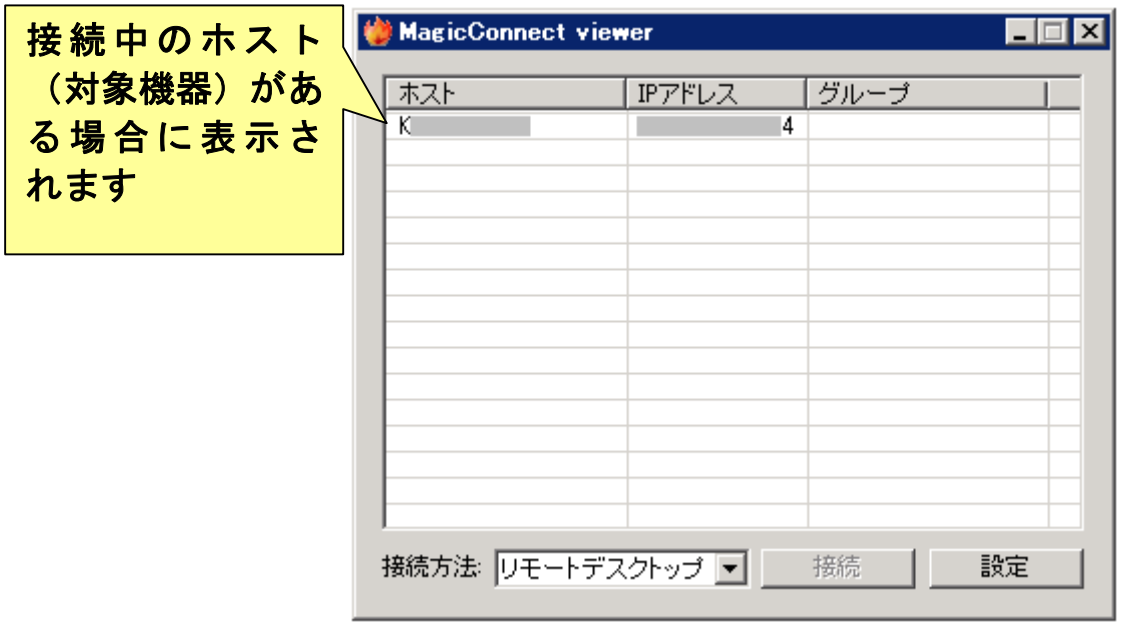


図３−２−３：メインウィンドウ

■操作 PC と中継管理サーバの間の接続を切断する場合は、メインウィンドウ（**図３−２−３**）の右上の「×」を押して、[MagicConnect Viewer]を終了します。

■USB キーを取り外す場合は、タスクバーに表示されている**「ホットプラグ（ハードウェアの安全な取り外し）アイコン」**をクリックして表示された USB デバイスを停止後、安全に取り外してください。

※不用意に取り外した場合、システムに影響がでる可能性がありますのでご注意ください。
取り外し方法は OS により異なる場合があります。不明な場合は OS のヘルプを参照してください。

【　表示画面　】

□　ホスト　　：　対象機器の名称（対象機器側で設定可能）が表示されます。
□　IP アドレス　：　対象機器の IP アドレスが表示されます。
　　ファイアウォールがある場合、そのアドレスが表示されます。
□　グループ　　：　対象機器側で設定したグループ名が表示されます。

【　各ボタン　】

□　接続方法　　：　利用アプリケーションを指定します。
□　接続　　：　選択したホスト（対象機器）へ、接続方法で指定したアプリケーションで接続します。
□　設定　　：　設定ウィンドウ（**図３－１－２**）を開きます。

【　右上の「×」　】　：　[MagicConnect Viewer]を終了する場合に押します。
　　操作 PC と中継管理サーバの間の接続は切断されますが、選択したホスト（対象機器）と中継管理サーバの間の接続は維持されます。

３－３）利用アプリケーションの設定・利用

次に、MagicConnect 上で利用されるアプリケーションの設定を行ってください。

リモートデスクトップクライアントの設定・利用の手順は、ご利用者の利便のため、下記に記載してありますので、ご参照ください。

１）利用開始・終了

MagicConnect Viewer を中継管理サーバに接続し、リモートデスクトップクライアントを利用する操作方法を説明します。

①MagicConnect Viewer を起動して、ユーザ名／パスワードを入力して［OK］をクリックします。

図３-３-２-１

②一覧からホスト（対象機器;操作される側）をクリックして選択し、
接続方法から［リモートデスクトップ］を選択して、［接続］を押します。

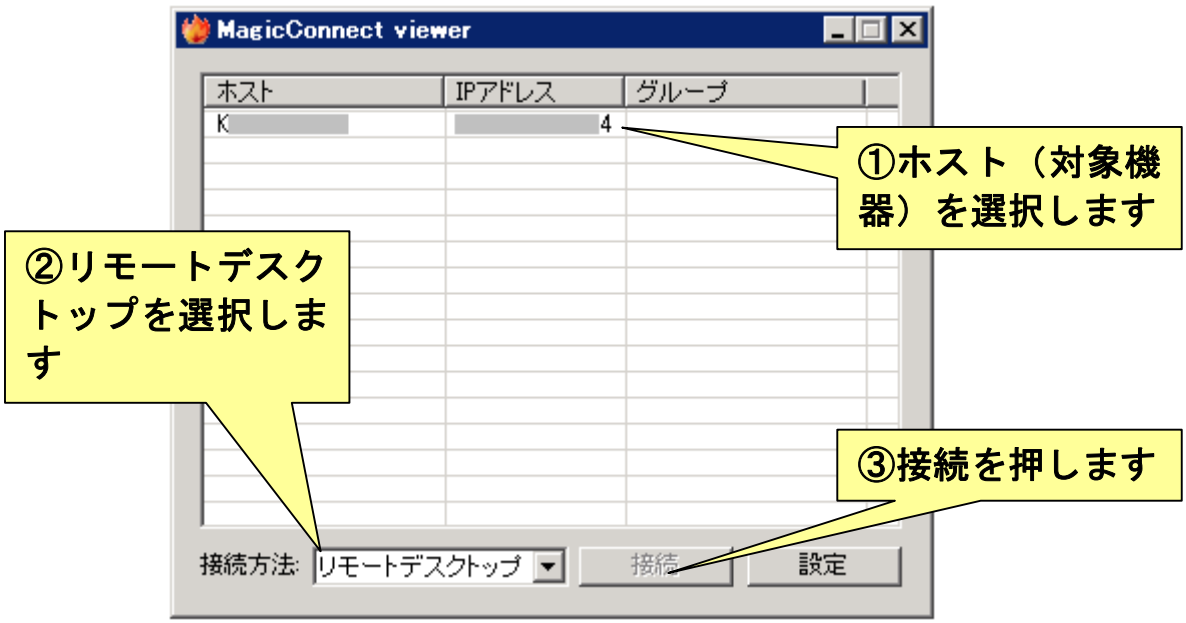


図３-３-２-２

③対象機器（操作される側）の Windows OS のユーザー名とパスワードを入力して
ログオンし、利用を開始します。

図３－３－２－３

■利用を終了する場合は、リモートデスクトップクライアント、MagicConnect Viewer を終了して、USB キーを取り外します。

④リモートデスクトップクライアントを終了する場合は、上部バーの「×」を押してウィンドウを閉じます。

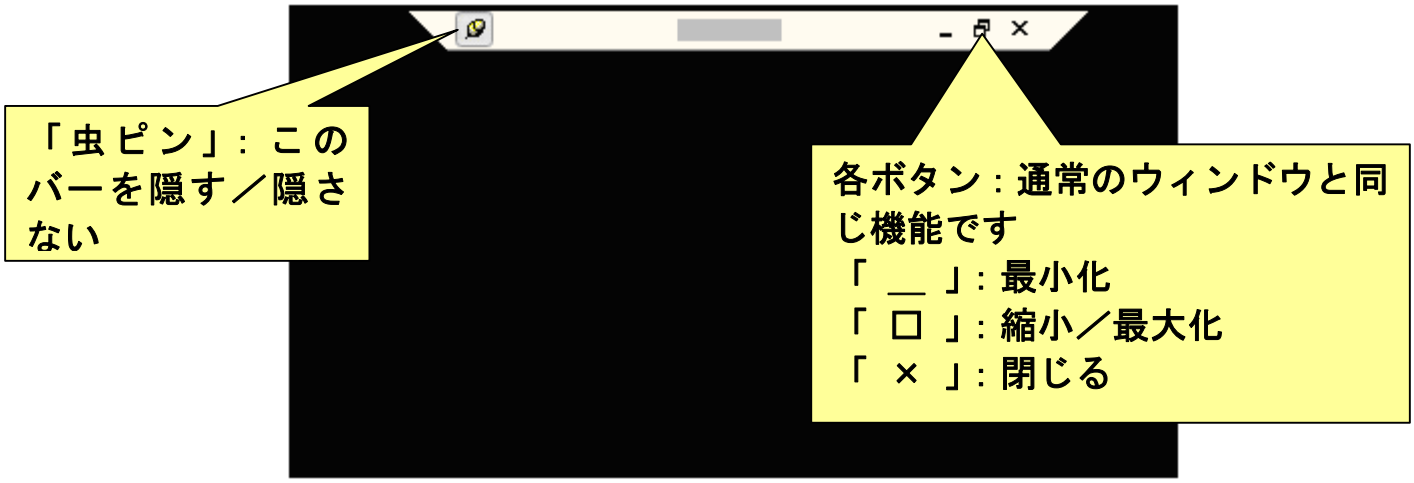


図３−３−２−４

⑤MagicConnect Viewer を終了する場合は、右上の「×」を押します。

図３−３−２−５

⑥USB キーを取り外す場合は、タスクバーに表示されている**「ホットプラグ（ハードウェアの安全な取り外し）アイコン」**をクリックして表示された USB デバイスを停止後、安全に取り外してください。

※不用意に取り外した場合、システムに影響がでる可能性がありますのでご注意ください。取り外し方法は OS により異なる場合があります。不明な場合は OS のヘルプを参照してください。

４章. その他

本章は、
４－１）パスワード変更とアクセス履歴表示のユーザサポートツール
４－２）MagicConnect のバージョンアップ
４－３）MagicConnect Client を操作可能なユーザの制限方法
４－４）MagicConnect Client を必要なときだけ待ち受けさせる運用
に関して記述しています。

４－１）ユーザサポートツール

MagicConnect のパスワードを変更したい場合や MagicConnect のアクセス履歴を確認したい場合、Biz Communicator のホームページ（http://www.bizcommunicator.net/）の「ユーザツール」をご参照ください。

４－２）MagicConnect のバージョンアップ

バージョンアップ手順は、Biz Communicator のサポートページを参照してください。
http://www.bizcommunicator.net/

４－３）MagicConnect Client を操作可能なユーザの制限方法

本項目は、Windows の OS 管理に関する知識のある方を対象とした、高度な設定について説明しています。その対象機器を利用するユーザが１人の場合には本項目を意識する必要はありません。

MagicConnect Client をインストールした直後の状態では、その PC にログインできる全てのユーザが MagicConnect Client を操作 （中継管理サーバへの接続／中継管理サーバからの切断／設定の参照／設定の変更）することが可能です。
複数のユーザが利用するサーバマシンなど、特定のユーザだけに MagicConnect Client の操作を許可したい場合、本項目の手順に従って設定を行ってください。

MagicConnect Client の操作 （中継管理サーバへの接続／中継管理サーバからの切断／設定の参照／設定の変更）は、MagicConnect Client 設定ファイルに対する書き込み許可を持っているユーザだけが実行できます。
MagicConnect Client 設定ファイルに対する書き込み許可を持たないユーザがタスクバー 通知領域の MagicConnect Client アイコンを右クリックした場合、【接続エラーを確認...】以外の全てのメニューが無効になります。

MagicConnect Client 設定ファイル：
MagicConnect Client インストール先のファイル【 mccln.cfg 】
通常は
32bit OS の場合【 C:¥Program Files¥MagicConnect2.0¥mccln.cfg 】
64bit OS の場合【 C:¥Program Files (x86)¥MagicConnect2.0¥mccln.cfg 】

標準では、その PC にログインできる全てのユーザ（Authenticated Users グループ）に対してフルコントロール権限が付与されています。つまり、全てのユーザが操作可能です。
設定ファイルへのアクセス権限を適切に管理することにより、MagicConnect Client を操作可能なユーザを制限することができます。

設定例:「 ユーザ admin だけに操作権限を与える」

【admin】というユーザだけに MagicConnect Client の操作権限を与えたい、という要求を実現するためには、MagicConnect Client 設定ファイル【mccln.cfg】に対するアクセス権限を以下のように変更します。PC やアプリケーションを再起動する必要はありません。

① Authenticated Users グループに対するアクセス権限エントリを削除
② ユーザ admin に対するアクセス権限エントリを追加し、書き込み許可を付与

※ MagicConnect Client の操作権限が無くても MagicConnect を利用してリモートから その PC にログインすることは可能です。
※ MagicConnect Client の接続状態確認や接続エラーの参照は、操作権限とは無関係に全てのユーザが実行可能です。
※ MagicConnect Client のインストール先が NTFS ファイルシステムである必要があります。FAT32 ファイルシステムの場合、特定のユーザだけに権限を付与することはできないため、全てのユーザが操作可能です。

４－４）MagicConnect Client を必要なときだけ待ち受けさせる運用

MagicConnect Client の設定で【サーバへ自動で接続し、ログインする】（図２-３-１）を選択すると対象機器を起動するだけで自動的にリモートからの接続を待ち受ける状態になります。この自動待ち受け動作は、多くの一般的なリモートアクセス用途では望ましいです。

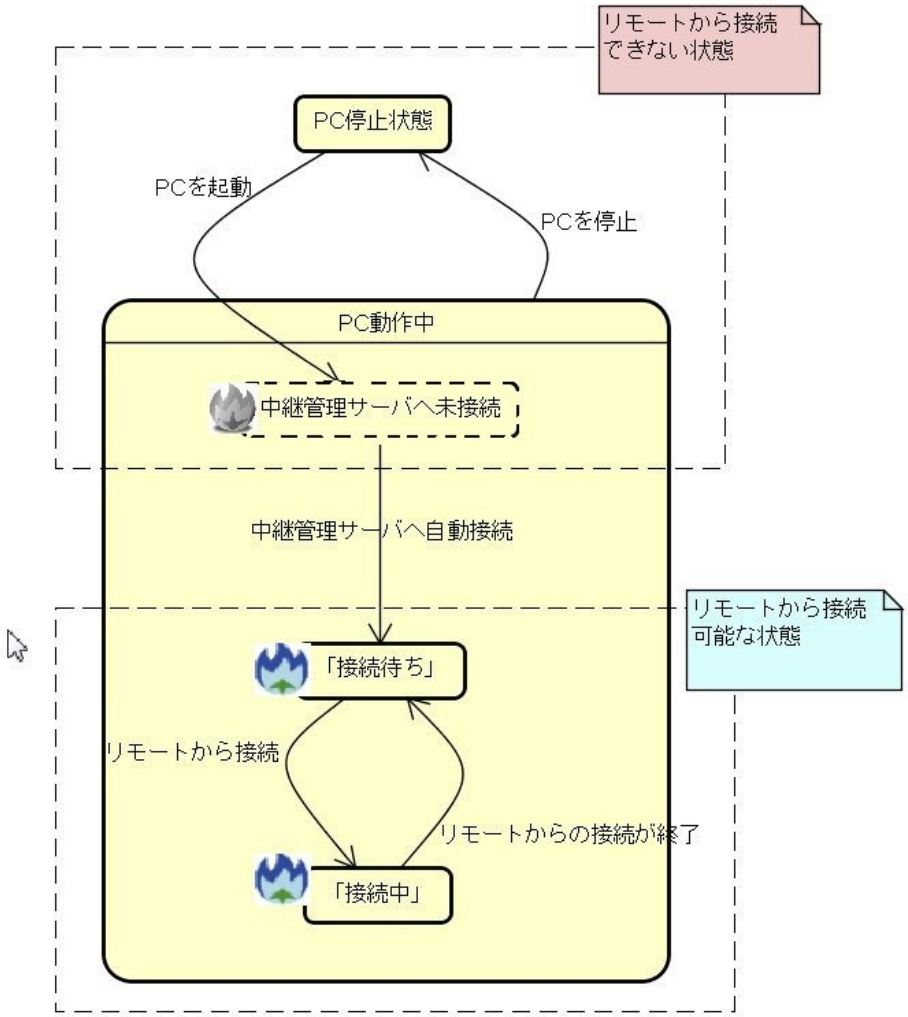


図４-４-１： 自動接続時の動作

しかし、一部には自動待ち受けでは都合の悪いケースが存在します。

例）

- 通常は PC の前で PC を直接利用する。何か問題が発生したら遠隔地のサポート担当に連絡し、リモートから PC にログインして問題を解決してもらう。普段はリモートから PC に入ってもらいたくない。

このようなケースの場合、【サーバへ**手動**で接続し、ログインする】（図**２－３－１**）設定を選択します。
この設定では次のように運用します。

- ✓ PC を起動した直後はリモートからの接続を待ち受けません。タスクバー 通知領域の MagicConnect Client アイコン（以下 アイコン）は（マウスカーソルを重ねると「**サーバに接続してください**」表示）から変化しません。
- ✓ リモートからアクセスして欲しい時には、アイコンを右クリックして【接続】を選択します。
  - ➢ リモートからのアクセスが可能な状態になるとアイコンが（マウスカーソルを重ねると「**接続待ち**」と表示）に変化します。
  - ➢ 実際にリモートからアクセスされている最中にはアイコンの外観はのままで、マウスカーソルを重ねると「**接続中**」と表示されます。
- ✓ リモートからの作業が終了したらアイコンを右クリックして【切断】を選択します。
  - ➢ リモートからアクセスできない状態になるとアイコンが（マウスカーソルを重ねると「**サーバに接続してください**」表示）に戻ります。

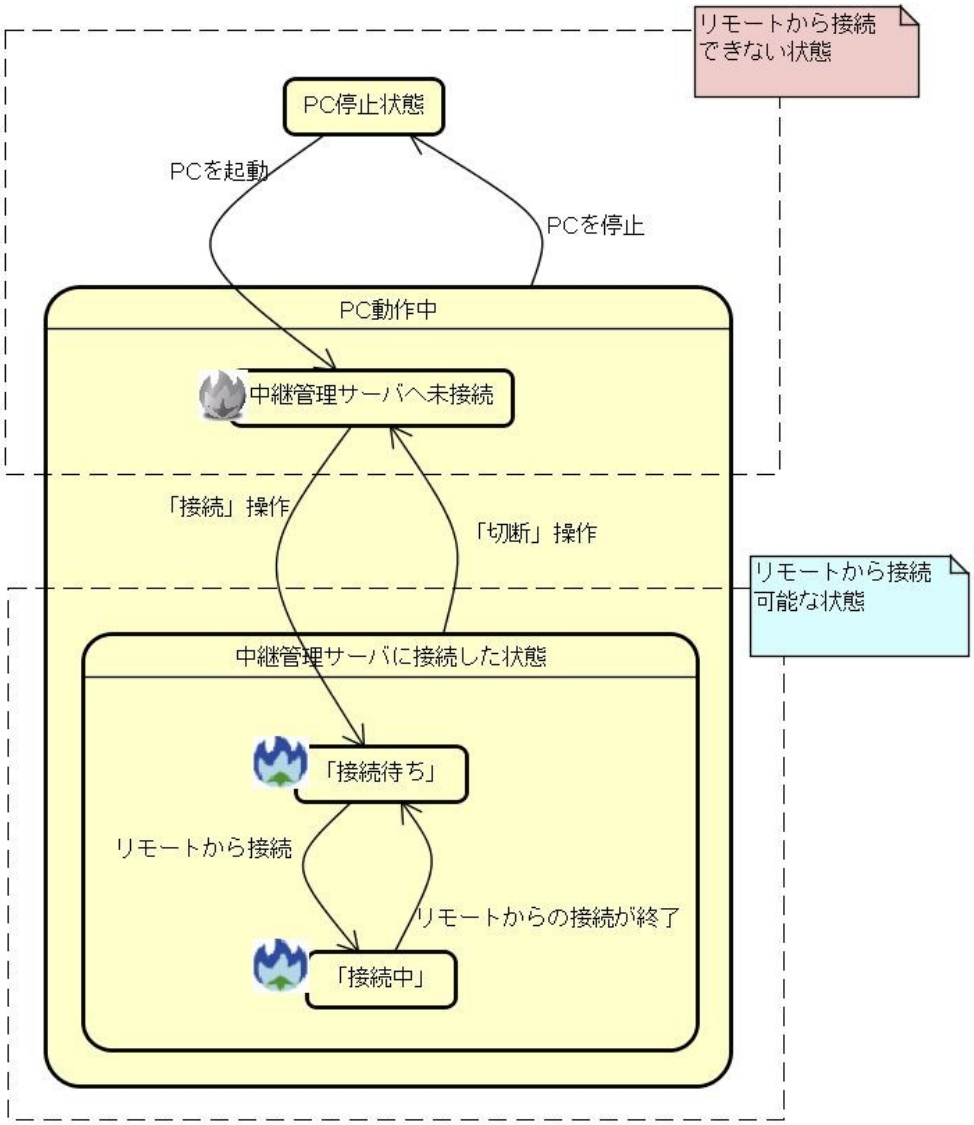


図４－４－２　：　手動接続時の動作

以上で、本書の説明は終了です。BizCommunicator を十二分にご活用いただき、末永くご愛用いただければ幸いです。

「サードパーティライセンス」
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)
This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)

Biz Communicator リモートサービス
取扱説明書 for Windows
(Powered by MagicConnect)

※MagicConnect は、エヌ・ティ・ティ アイティ株式会社の登録商標です。
本マニュアルの MagicConnect に関する記述は、エヌ・ティ・ティ アイティ株式会社に原著作権があります。

発行日　2011 年 07 月 22 日　　第 1.4 版発行

発行所　ＮＴＴコミュニケーションズ株式会社

〒100-8019　東京都千代田区内幸町 1-1-6　日比谷ビル